

<p>学校だより</p> <p>さくら</p>		<p>教育目標 やさしさ つよさ たくましさのある さくら小の子</p> <p>令和7年 12月号 12月1日発行</p> <p>大島町立さくら小学校 〒100-0102 大島町岡田字長坂 113 電話 04992-2-8021 フax 04992-2-8853 E-mail 02T000@izu-oshima.ed.jp</p> <p>[大島町立さくら小学校] [検索]</p>
-------------------------	---	--

春待ち月

校長 野澤 啓幸

日照時間も短くなり、気温が下がってきました。朝は凜とした空気を感じ、夜は空気が澄んでることによって星空を楽しめるようになりました。14日頃には、月明かりの影響も少なくふたご座流星群が見られそうです。

春待ち月とも言われる12月を前に、子供たちの成長した姿、春の進級を期待させる姿が多数みられました。そのうちの一つを紹介します。

先日行われたスマイルさくら班での交流活動は、『スペシャルスマさく』として行われました。「ある事情により、6年生がいなくなってしまった。スマさく班の1~5年生皆で協力して6年生を探そう。」ということで、渡されたメモを手掛かりに校内の様々な場所に行って謎(クイズ)を解き、その答えが示す場所をたどって、自分たちの班の6年生を探しました。リーダーとして各学年の様子を気にかけながら班をまとめようとする5年生。自分で答えを導き出すだけでなく、1,2年生向けの謎について、一緒に悩んだり、ヒントをどう伝えるか考えたり、1,2年生が考えた答えが正しいか冷静に検証したり、時には謎の解釈の仕方を5年生に進言したりする3,4年生。自ら上学年に相談しながら一生懸命考え、答えを基にうれしそうに次の教室を目指す1,2年生。それぞれに4月からの成長を感じさせる姿がありました。そして共通の目的に向けて、相手のことを考えながら協力し、すべての班が6年生を見付けることができました。企画全体の設定、謎づくり、安全面の配慮をしながら楽しい時間を創出した6年生は、卒業する自分たちが何を残し、引き継いでいけるのかも考えて進めていたと思います。

2学期まとめの時期、子供たちが自信をもって今年を締めくくれるよう、良さを価値付け、指導してまいります。

<学校運営協議会>

今年度から大島に学校運営協議会が設置されることになりました。

『学校運営協議会(コミュニティ・スクール)』とは、地域の方や保護者等が一定の権限と責任を持って学校運営への参画を進めることにより、保護者や地域の声を学校運営に活かす仕組みです。

大島町教育委員会では、学校と地域・保護者等との信頼関係を深めるとともに、学校と地域が相互に教育力を高め、子どもたちの豊かな学びと育ちの環境づくりを行うことを目的として、令和7年度に導入しました。これによって、より「開かれた学校づくり、特色ある学校づくり」が進むものと期待しています。

学校運営協議会は、教育委員会が任命した委員(保護者、地域住民、校長及び教職員、学識経験者、関係行政機関の職員、その他教育委員会が適当と認める者)によって構成されます。』(大島町HPより)

11月4日に第一回大島町北部地区小・中学校 学校運営協議会を行いました。委員の組織作り、各校からの活動報告を基に意見交換を行いました。この仕組みも活用しながら、保護者・地域の皆様との連携をより深めてまいります。

今年度委員

会長:川島郁雄さん 副会長:櫻井真美さん 委員:井島吉春さん 長谷川孝一さん 川島勝彦さん 両校管理職

12月の生活目標「進んで仕事をしよう」

12月 生活目標担当 長嶋 洋平

「仕事」という言葉を聞いてどのようなイメージを持つでしょうか。「楽しいこと」や「やりたいこと」といったイメージでしょうか。それとも「面倒なこと」や「つらいこと」というイメージでしょうか。「仕事」にはいろいろなものがあります。学校での「係」や「当番」などの「仕事」もあれば、大人が働いている「仕事」もあります。与えられた「仕事」や、自分がどうしてもやりたくてやっている「仕事」など様々です。

それでも、どの「仕事」にも共通していることがあります。それは、「誰かのためにになっている」ということです。「面倒だな」と思うことでも相手の喜ぶ姿を想像したら頑張ろうという気持ちが少し湧いてくるかもしれませんね。同じ「しごと」でも「志事」という字を使う人もいるようです。今月は、何のために働いているのか、誰のために働いているのかを考えて、進んで「しごと」ができるように子供たちに声をかけていきます。

さくら小学校 20周年記念ロング集会

周年行事担当 樋口 絵里子

本校は今年、創立 20 周年を迎えるました。その節目をお祝いする「20 周年記念ロング集会」が、11 月 27 日(月)、体育館で盛大に行われました。運営委員会を中心に企画・準備を進め、当日は、スペシャルゲストとして歌手の EMI さんをお迎えし、地域や保護者の皆様とともに、さくら小学校の 20 年の歩みを振り返りながら温かな時間を過ごしました。

会場には、子供たちが心をこめて作った「20周年お祝いケーキ」や横断幕、思いやりの絵が飾られ、華やかで優しい雰囲気に包まれました。低学年は学校クイズで「さくら小学校のいいところ」を可愛らしく紹介し、中学年は寸劇を交えて歌を披露しました。高学年は迫力ある「南中ソーラン 20 周年記念バージョン」を披露し、会場から大きな拍手が送られました。

その後の EMI さんによる「思いやりコンサート」では、「縁は異なるもの」「大きな古時計」「ひだまりの詩」などの名曲を手話を交えて歌ってくださいました。最後は、EMI さんのギター伴奏で校歌を歌い、全員で「OMOIYARI のうた」を大合唱しました。笑顔と感動に包まれたひとときとなり、子供たちの心にも「さくらの絆」がしっかりと刻まれました。



道徳授業地区公開講座について

道徳担当 津野 典子

今年度の道徳授業地区公開講座は、「さくら小学校 20 周年バージョン」として盛大に実施いたしました。初めての取り組みとなる「さくら小全校道徳」では、さくら小学校の校歌をテーマに、1~6 年生でグループをつくり、好きなフレーズやそこに込められた思いについて語り合いました。中には、「校歌には人生についてのメッセージが書かれている!」という意見もありました。6 年生が下級生を温かくリードし、終始和やかな話し合いの時間となりました。また、「パネルディスカッション」では、さくら小学校にゆかりの深い3名の皆様をゲストティーチャーとしてお招きし、「やさしさ・つよさ・たくましさ」をテーマに、会場全体で一層考えを深めることができました。20 年という歴史の中で、さくら小学校で育ってきた子供たちが、これからも大切な思いを受け継ぎ、未来へとしっかりとつないでいけるよう、そして、たくましく成長し羽ばたいていけるよう、今後とも温かい応援をお願いいたします。



行事予定はホームページで公開しています。→

(事務室前に、行事予定を印刷したものを用意しています。必要な方は、ご自由にお取りください。)

